

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	みらい		公表日 令和7年3月6日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		規定に即したスペースで、感染症対策をしながら利用していただいています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		児童指導員、保育士、看護師を利用人数に合わせて配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		室内はバリアフリー化されていて、日々の利用者様の状況に応じて、環境整備をしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		日々清掃消毒は徹底し感染対策と室温、湿度などの環境も整えています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		必要に応じて、個室対応できるよう環境を整えています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		定期的なミーティング、また必要に応じて日々のミーティング時に職員と検討しております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		保護者向けの評価表の結果やご意見は受け止め検討し改善に努めています。	面談の際に保護者の意向を把握していきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		日々の支援開始前のミーティングで意見交換して、改善につなげています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		8	第三者による外部評価は行っていません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		法人として月一回様々な研修を行っていて、職員が出席しています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		8		今年度、支援プログラムを作成し公表してまいります。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		日常の送迎時の保護者との会話の中や担当者会議などでお聞きしたことを職員と検討し計画を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		日常の送迎時の保護者との会話の中や担当者会議などでお聞きしたことを職員と検討し計画を作成しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		計画の更新時にミーティング時に職員に伝え、検討し支援を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		太田ステージを随時使用し、支援に生かしています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8			今年度からの支援プログラムにより、本人支援、家族支援、移行支援等々の項目を分けて記入が必要になりましたが、日常の支援の中で実施してきたことではあるので、今後項目に分けて支援内容を設定していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		常勤職員により案を検討し、その後、職員間で更に検討しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	1	創作活動は季節に合わせて毎年異なるものを作成し、レクリエーションや体操の内容なども、毎回検討し様々な経験をしていただけるよう組んでいます。	活動時間が短くなっていることで、活動が固定化しない様、常に職員間で相談しながら工夫していきたく考えています。

児 供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	体操や個別課題、創作活動は個別対応していますが、ボール遊びなどではお友達との関わりを持てるような集団活動をしています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	平日は毎日送迎前にミーティングを行い、役割分担、活動内容について確認を行っています。長期休暇時は支援前に行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	支援終了後は必要に応じて、打合せを行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	サービス提供実施記録表に記録をとっています。日々、ミーティング時にも保護者と情報共有された部分では利用者様ごとに記録を残しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	送迎時のやり取りも含めて、担当者会議等でモニタリングを行い計画の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8	日替わりの活動の中で、個別課題や排泄の自立に向けての支援、ゲームや創作での初めての体験、外出活動での地域交流、帰りの会などでの司会でのやり取りなど様々な活動をしなが支援しています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	おやつやの選択や、創作活動での、様々な材料の選択など、自己決定をする場面は多く、意思の表出を促せるよう支援しています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	支援に係っている児発管や医療的ケアに必要な利用者様には看護師が主に出席しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	相談支援、学校、他事業所との連携を随時取りながら、支援しています。必要時は利用者様の担当医や法人の協力医との連携体制も整えています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	学校とは毎日の送迎時にその日の状況を聞き、行事予定やトラブル発生等での下校時間の変更などは保護者より連絡をいただき対応しています。その後の支援に対応しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	利用開始前に必要に応じて情報共有をさせていただいています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	卒業後の利用事業所が決定後、支援内容や方法等、情報提供は必要に応じて行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8		地域の児童発達支援センターとの連携は特にとってなく、研修等の機会も設けてませんが、今後必要であれば検討していきたいと思っています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8	放課後児童クラブや児童館との交流する機会にはありませんが、図書館などに本を借りに行く際には地域のお子さんとの交流はあります。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8	法人職員が参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	送迎時などに状況を伝えあい、共通理解させていただき様心掛けています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8		家族に対する支援プログラムや研修の機会は設けていませんが、研修などの情報提供等はさせていただいています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	運営規定、利用者負担等については利用開始時に説明させていただいています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	担当者会議や日常のやり取りの中で、利用者様や家族の意向を確認しながら計画を作成させていただいています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	定期的に説明を行い同意を得させていただいています。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	ご家族からの相談は真摯に受け止め、必要な面談や助言を行っています。	家族等からの子育ての悩み等の相談や面談について満足いただけるようお声掛けしていきたいと思っています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	8	父母会、保護者会の開催はしておらず、保護者同志の交流する機も特には設けておりませんが、法人の感謝祭等では様々な方との交流が持てる機会となっています。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	苦情受付、苦情対応責任者を設け、苦情があった際には速やかに対応させていただき、今後の支援で苦情をいただく事が無いよう職員にも周知徹底しております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	事業所からは毎月定期的な通信を発行し、活動の様子や、行事予定などを連絡させていただいています。	SNSは今後実施していきたいと思っています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	個人情報についてはご利用の契約時に承諾いただいた通り、必要に応じて保護者の承諾を得て使用させていただいています。また、漏洩がないよう取り扱いには十分注意しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	送迎時に直接お会いしての連絡、また、サービス提供実施記録やメール、LINE、電話等々、様々な手段で情報伝達を行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	法人で実施する感謝祭には今年度も天候が悪いなかでも多くの方に来場いただきました。来年度例年通りの感謝祭と15周年式典も行う予定です。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		マニュアルは策定しており、避難訓練も定期的に行って、通信に訓練の様子も掲載させていただいています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	業務継続計画の策定はされており、火災、地震、水害などの避難訓練も実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	利用開始時には服薬や健康上留意する点など、詳細について確認させていただき、安全に利用していただけるよう、職員にも周知し	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	医師からの指示書は頂いておりませんが、食物アレルギーのある利用者様については保護者よりお聞きし対応させていただいていま	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	安全計画は作成し、季節に応じた環境整備ができていますか、日々確認しています。	地震の際に上から物が落ちてこないか等も確認し、整備していきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	安全確保については色々な場面があるので、状況に応じた取り組みを行っています。	毎月の通信や法人からの年3回のはとわく通信でお知らせしていきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	ヒヤリハットがあれば日々記録に残し職員に周知し再発防止に努めています。	法人内で安全衛生委員会を設け、他事業所でのヒヤリハットも共有し、再発防止に努めています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	法人で虐待防止委員会を設け月一回の会議を行い、その都度、職員への周知、年一回の研修も行い適切に対応しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	月一回の虐待防止委員会の会議で身体拘束についても検討し、その都度職員へ周知し、身体拘束が必要な場合は保護者への説明と同意を得て、個別支援計画にも記載しています。		